

# 精華町立 精華台小学校



所在地 京都府相楽郡精華町精華台一丁目2番地の1  
電話 0774-98-0310 郵便番号 619-0238  
FAX 0774-98-0312  
<http://www.kyoto-be.ne.jp/seikadai-es/>

## 精華台小学校 校歌

作詞 駒 好修  
作曲 森永 朋子

い ず み の な が れ のぞむお か  
き の か す が し き ま な び や で  
と も と つ ど い て は げ み あ い  
こ こ ろ と か ら 一 だ き た え よ う み が  
く み ん な の せ い か だ い し ょ う が つ こ う

### 精華台小学校校歌

作詞 駒 好修  
作曲 森永 朋子

一 泉のながれ 望む丘

木の香すがしき 学び舎で  
友と集いて はげみあい  
心とからだ きたえよう

みがく みんなの 精華台小学校

二 歴史のほころ ふるさとに

愛と自然を はぐくみて  
仲よくともに 歩みゆく  
豊かな心 あたためて

のびる みんなの 精華台小学校

三 未来にむかう 精華台

科学の進む けいはんな  
世界の友と 語りつつ  
世紀の文化 創る日々

ひらく みんなの 精華台小学校

## 1. 学校の沿革

- 平 13. 4. 1 精華町立精華台小学校創立
4. 5 精華町立精華台小学校竣工式
4. 6 精華町立精華台小学校開校式
9. 11 精華町立精華台小学校 P T A 発足
14. 2. 22 精華町立精華台小学校『校歌』発表会
5. 27 平成 14・15・16 年度 社会福祉協力校の指定を受ける。
15. 4. 1 児童増に伴う校舎増築工事着工  
障害児学級「わかば学級」開設
8. 29 南校舎竣工（2階建 8 教室）
15. 11. 27 平成 13・14・15 年度文部科学省指定（京都府南部地域）次世代 I T を活用した未来型教育研究開発事業研究発表
16. 4. 9 財団法人京都府交通安全協会より交通安全の取組に対して表彰状を受ける。
4. 30 京都府公立学校教職員評価制度指定校を受ける。
6. 9 京都府と友好提携のオクラホマ州の青年を受け入れ国際交流を行う。
6. 14 平成 16・17・18 年度「子どもの体力向上実践事業」文部科学省指定（精華台小学校地区）を受ける。
8. 1 乳児院・児童養護施設「京都大和の家」が開所される。（南稲地区）
9. 1 児童増加に伴い第 4 学年を学級再編成し、1 学級の増加となる。
17. 3. 1 「人権の花」の取組により、京都府地方法務局 京都府人権擁護委員連合会より感謝状を受ける。
- 17.6～18.3 文部科学省指定「子どもの体力向上実践事業」実践校
17. 11. 8 米国オクラホマ州ノーマン市 ハラルド・ハラルソン市長が学校訪問
20. 4. 平成 20 年度「学校評価の充実・改善のための実践研究」事業実践校
11. 特別支援学級「わかば学級」増設に伴う校舎増築工事着工
21. 2. 新館竣工（特別支援学級 2 教室）
27. 9. 創立 15 周年事業 航空写真撮影
29. 9. 1 相楽地方通級指導教室西部教室精華台教室開設

## 2. 学校教育方針

### 1. 経営方針

児童一人一人の目線に立って、質の高い学力、豊かな人間性、たくましく健やかな身体をはぐくみ、「展望する力」「つながる力」「挑戦する力」の調和を大切にした教育を進める。

そのために、児童が「今日は有意義で楽しかった。明日も元気に学校へ行きたい。」という『明日の意欲につながる学校づくり』を基本として、公教育に課せられた使命と責任を自覚し、常に自己を高め、きめ細かな指導に努める。

そして、保護者・地域と融合した『信頼を高める学校づくり』を進める。

### 2. 教育目標

「自ら磨き・伸ばし・拓く児童の育成」

自ら学び考え、主体的に判断できる能力や、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力の向上を目指すとともに、個性の伸長を図る。

- (1) 個に応じた指導を積極的に進め、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ（習得型の学力）、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくむとともに（活用型の学力）、主体的に学習に取り組む態度を養う。（探究型の学力）
- (2) 人権尊重を基盤として、「規範意識や人を思いやる心」、「正義感や公正さを重んじる心」や「多くの人と交わる力」など、豊かな人間性の育成に努める。
- (3) 生命の大切さを基本として、「健康・安全意識の高揚」を図り、「健康・安全生活の実践」ができる力の育成に努め、健康や体力の向上を図る。

### 3. めざす児童像

- 進んで学ぶ子
- 心豊かで思いやりのある子
- 元気でたくましい子

### 4. めざす学校像

- (1) 「児童の明日の意欲につながる学校づくり」
  - ① 安心できる学校（授業力の向上）

児童一人一人の学習状況の的確な把握と個に応じた指導の充実により、基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせるとともに、自ら学ぶ意欲と自ら考える態度を育てる授業づくりを進める。

② 安全な学校（経営力の向上）

児童一人一人の生命や人権が尊重され、大切にされる学級・学年・学校づくりを進める。

(2) 「信頼を高める学校づくり」

① 安定した学校（学校力の向上）

社会の変化や時代のニーズを的確に把握し、児童や保護者の多様な価値観に適切に対応するために、教職員相互の連携・協働体制の確立を図り、組織としての学校の教育力の充実の向上に努める。

## 5. 重点目標

「目指す児童像の具現化を図る教育ビジョンの策定とその組織的・計画的な教育の推進」

## 6. 指導の重点

(1) 基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進

① 指導目標を明確にした質の高い学力の育成と個性を伸ばす教育の充実

ア 「ことばの力」をはぐくむための各教科等における言語活動の充実

イ 児童の実態や個に応じた指導の充実

ウ 学習の意義や有用性を実感させる場の充実と学習意欲の喚起

② 教職員個々の創造性を発揮するとともに、相互のよさに学び合う開かれた学年・学級経営の推進

ア 個々の児童の確かな理解と個性の伸長にもとづく居場所づくりの推進

イ 互いに学び合う・高め合う人間関係の育成

③ 発達障害を含む障害のある児童一人一人の自立や社会参加を目指した特別支援教育の推進

ア 校内委員会の機能的な活用に基づく、児童支援の校内体制の充実

イ 個々の児童に対する個別の指導計画の活用と指導方法の工夫改善

(2) 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

① 「特別の教科道徳」を推進する校内体制の整備と全教職員の共同による道徳教育の推進

ア 「規律を重んじる心」や「多くの人と交わる力」の内容項目を重点とする年間指導計画の改善と別葉の作成

イ 「京の子ども、明日へのとびら」や「私たちの道徳」をはじめとした効果的な資

料の年間指導計画への位置づけと、心に響く道徳の時間の指導の充実

- ② 生命の尊厳と人権を尊重する態度や実践力を育てる教育の充実
  - ア 互いの個性や価値観の違いを認め、自他を尊重する態度を育てる人権教育の推進（情報社会の進展をはじめとした時代の変化に伴う新たな人権課題に対応した取組を進める。）
  - イ 身近な生活の中での不合理や矛盾に自ら気づき、主体的に考え、解決しようとする態度の育成
- ③ 一人一人の子どもの健全な成長を促し、子どもが自ら現在及び未来における自己実現を図っていけるような、個々の子どもの問題に対応できる総合的な取組の推進（生徒指導）
  - ア 生徒指導の三機能（自己決定・共感的理解・成就感）を生かした教育活動の推進
  - イ 不登校、いじめの問題などの早期発見・早期対応のできる校内生徒指導体制の確立と教育相談機能の充実
- ④ 望ましい集団活動を通して、存在感・充実感のある学校生活を送らせるための特別活動の充実
  - ア 児童の参加意欲や自己表現力を高める体験活動の工夫充実
- ⑤ 健康な心身をはぐくむ基本的な知識や、望ましい生活習慣・食習慣を身に付けさせるなど、健やかな身体の育成を図る取組の充実
  - ア 運動することの楽しさや喜びを味わう体育・スポーツ活動の充実
  - イ 心身の健康の基礎となる基本的な生活習慣を形成する能力と態度を育成する保健教育・保健管理の充実
  - ウ 身の回りの危険に気づき正しく判断し、自ら安全な行動がとれる能力と態度を育成する安全教育・安全管理の充実
  - エ 望ましい食習慣を身につけた健康的な生活を自ら実践する能力と態度を育成する食育の充実
- ⑥ 広い視野と豊かな人権感覚を持ち、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育成する国際理解教育の推進
  - ア 国際社会に生きる日本人の育成という観点から、各教科等の指導内容との関連を生かしながら、体験的な学習や課題学習の充実（1年生～2年生）
  - イ 外国語活動を通じたコミュニケーション能力の素地の育成（3年生～6年生）
- ⑦ 情報を主体的に取捨選択し活用する力をはぐくむとともに、情報機器や情報通信ネットワークを適切に利用するルールやマナーを身に付けさせる取組を充実させる情報教育の推進
  - ア 児童の発達段階や各教科等の学習内容と関連づけながら、身近な道具として適切

に使いこなせる能力と態度の育成

イ プライバシーの保護や著作権などの基礎的な情報モラルやマナーの育成

### (3) 教職員の資質能力の向上

#### ① 教職員の使命と責任

ア 教育関係諸法令を遵守し、公教育に課せられた使命と責任を自覚するとともに、教職員評価制度の活用などを通して豊かな識見と専門性に基づく自己の資質能力の向上に努める。

(ア) 自己目標の管理と自己評価に基づく計画的・持続的な研究実践の追究

(イ) 教職員相互の連携・協働意欲に基づく組織としての学校の教育力の向上

(ウ) 「正確性・迅速性・透明性」の原則に基づく丁寧な児童・保護者対応の実施  
(説明責任と同意)

(エ) 組織的な文書管理体制の確立とコンプライアンス（遵法）意識による職務遂行

#### ② 教職員研修

ア 社会の変化を的確に把握し、学校教育に寄せられた期待に応えられるように努める。

(ア) 研究授業を要とした重点研究の活性化と指導力の向上

(イ) 組織的な初任者研修体制の確立と適正な年間研修計画の作成

(ウ) 次期新学習指導要領の移行期間中における適切な対応

#### ③ 学校評価を学校経営の中心に据えた「開かれた学校づくり」の推進

ア 全校務分掌方針に学校評価を位置づけ、計画的・組織的な教育活動の実施と評価システムの確立

イ 年間3回の学校評議員会、授業参観・オープンスクール、学校説明会の開催

## 7. 研究主題

「主体的な関わり合いを通してお互いを高めあえる児童の育成」

～ 特別活動を中心とした望ましい集団活動を通して ～

### 3. 児 童 数（5月1日現在）

#### (1) 学年別・学級別児童数

学 年 組	特別支援学級 わかば		1年			2年			3年			4年			5年			6年				合 計
	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	
男 子	6	0	13	14	14	18	18	17	19	17	18	13	13	13	16	16	16	15	14	15	15	300
女 子	1	2	11	11	10	14	13	14	12	13	12	14	15	15	15	15	15	14	13	14	14	257
小 計	7	2	24	25	24	32	31	31	31	30	30	27	28	28	31	31	31	29	27	29	29	557
合 計	9		73			94			91			83			93			114				557
家庭数	6		32			64			58			68			89			115				432

#### (2) 地域別児童数

地 域	特別支援学級	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
南稲	3	17	6	12	10	8	12	68
一丁目	2	9	9	8	13	15	20	76
二丁目	1	5	13	19	13	19	20	90
三丁目	1	11	13	15	7	18	18	83
四丁目	0	10	13	7	16	14	30	90
五丁目	2	21	40	30	24	19	14	150
合 計	9	73	94	91	83	93	114	557

#### 4. 教育一覧表（5月1日現在）

職名	氏名	担任	校務分掌
校長	波尻 寛之		
教頭	重村 直志		
教諭	叶 剛史	教務	教務主任、保健主事、キャリア教育、人権教育、道徳
講師	古川 操	教務	教務部、算数、音楽、教育相談
教諭	菅野 陽子	わかば1組	特別支援教育コーディネーター、特別支援教育、福祉教育
教諭	森居 奈弓	わかば2組	特別支援教育、図工
教諭	中野 尚子	1年1組	音楽、環境教育
教諭	児玉 千鶴	1年2組	環境教育、音楽
教諭	碓井 裕美子	1年3組	算数、人権教育
教諭	三川 ちさと	2年1組	図書館教育、情報教育
教諭	岩室 和貴	2年2組	体育、図工、委員会
教諭	吉津 芙美	2年3組	生活、国際理解教育
教諭	平島 恵美	3年1組	国語、図書館教育
講師	北澤 光祐	3年2組	社会、理科、安全教育
教諭	大垣 晶子	3年3組	外国語活動、国語
教諭	笹岡 和宏	4年1組	生徒指導、社会
教諭	石田 美奈	4年2組	給食、道徳
教諭	清水 裕史	4年3組	研究主任、特別活動、児童会
講師	北澤 寿々子	5年1組	教育相談、家庭科
教諭	安田 雄介	5年2組	情報教育、児童会
教諭	小田 将広	5年3組	理科、国際理解教育、生徒指導
教諭	小柴 文乃	6年1組	図工、外国語活動、少人数担当教育
教諭	秋山 樹	6年2組	安全教育、総合的な学習の時間
教諭	石原 依絵	6年3組	体育、家庭科、人権教育
教諭	木田 勇輔	6年4組	体育、クラブ
教諭	山口 知子	ことばの教室	特別支援教育、福祉教育
教諭	入江 晶子	(育休)	
教諭	吉元 由佳	(育休)	
養護教諭	井田 梨佳	(病休)	
初任者指導教員	田村 琴恵		(東光小学校教諭)
非常勤講師	山口 みどり		初任者研後補充
非常勤講師	岡田 琴子		2年生補助
非常勤講師	吉岡 達哉		2年生補助
養護教諭講師	山本 満帆		健康教育、教育相談
栄養教諭	森田 理恵		給食教育、健康教育
事務職員	浜野 麻未		学校事務
町特別支援員	小野 昌子		特別支援教育
町介助員	小野 政恵		特別支援教育
給食調理員	竹本 貞子		給食調理
給食調理員	岡本 淳子		給食調理
学校図書館司書	片山 智佳子		学校図書館運営
スクールカウンセラー	佐々木 幸子		
スクールカウンセラー	松尾 郁美		
学校医	岸田 秀樹		
学校歯科医	辰己 卓司		
学校薬剤師	松本 修一		



## 5. 学校行事計画

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
儀 式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文 化	1年生を迎える会	相楽美術展鑑賞会 絵画鑑賞会 学習発表会 文化鑑賞会	6年生を送る会
健康安全 体 育	定期健康診断 ・身体測定、聴力検査 視力検査、検尿 ・専門医健診（内科、 歯科、眼科、耳鼻科） ・心臓検診 ・プール前健康相談 避難訓練 交通教室 体力テスト 薬物乱用防止教室	定期健康診断 ・発育測定 ・視力検査 ・検尿 マラソン前検診 避難訓練 運動会 運動会練習 陸上運動交歓記録会（6年） マラソン記録会	定期健康診断 ・発育測定 避難訓練
遠 足 集 団 宿 泊	修学旅行（6年） 林間学習（5年）	社会見学	
勤 労 生 産 奉 仕	大掃除 入学式準備 プール清掃	大掃除 運動会準備	大掃除 半日入学 卒業証書授与式準備

## 6. P T A

(1) 本年度の活動目標

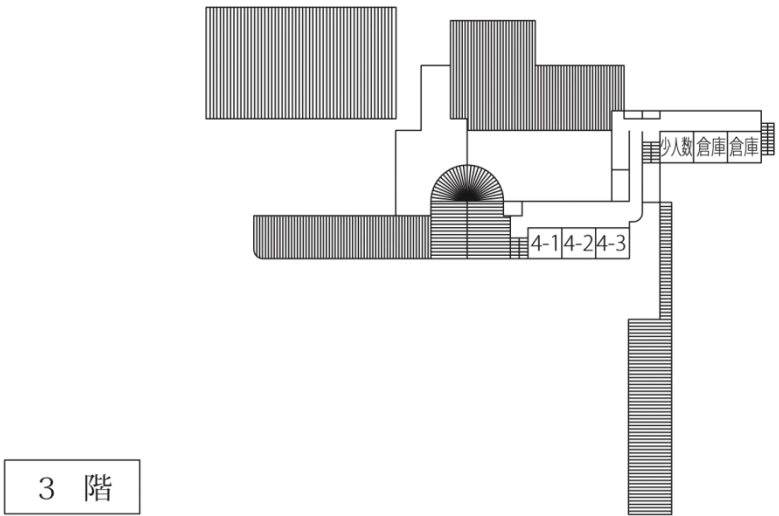
- ① 会員相互の連帯感と親睦を深め、P T A活動への参加を促す。
- ② 会員の教養を高める取組を推進する。
- ③ 専門委員会活動を推進する。

## 7. 学校評議員

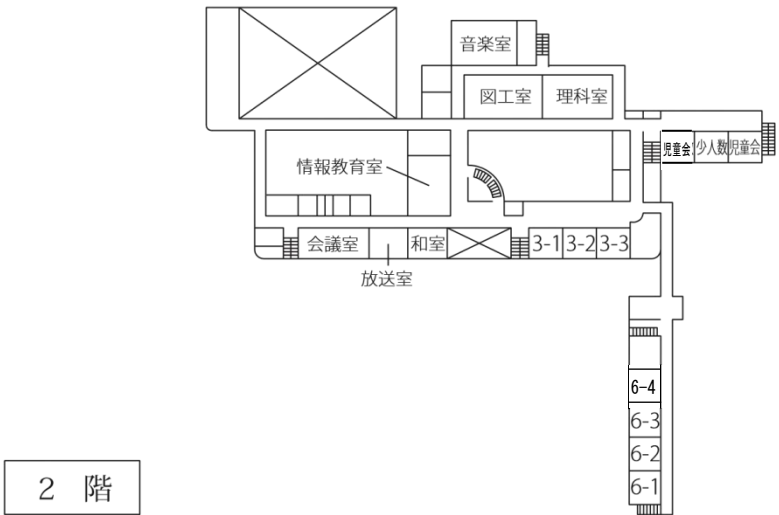
氏 名	地 域 名
徳 光 伸 一	精 華 台 一 丁 目
村 瀬 学	南 稻
廣 利 勝 行	精 華 台 四 丁 目

## 8. 学校施設

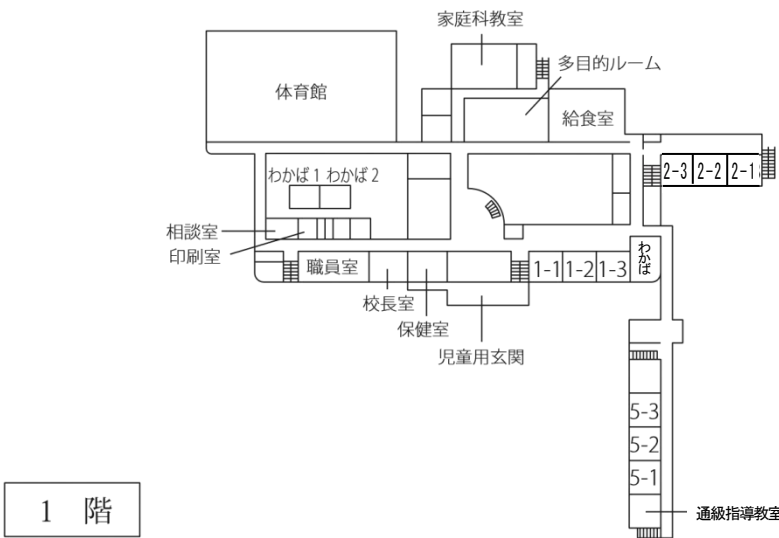
校地面積	43,543 m <sup>2</sup>
校舎面積	7,987.8 m <sup>2</sup>
体育館	1,296 m <sup>2</sup>
運動場	5,577 m <sup>2</sup>
プール	25m×6 コース



3 階



2 階



1 階

